

平成29年度長期優良住宅化リフォーム推進事業

現況検査チェックシート
(木造(鉄骨造も含む)・戸建住宅)

(基本情報)

検査対象住宅	(住宅所有者)			様邸
	(所在地)			
検査依頼主	(会社名・担当者)			
現況検査立会者	(会社名・担当者)			
構造	☐ 木造 ☐ S造	階数	地上 階、地下 階	
建築時期	☐ S、 ☐ H 年	延床面積	. m ²	

検査事業者 名称				
氏名		印		
既存住宅状況調査技術者	実施講習 機関名	実施講習機関 の登録番号	修了証明書 番号	
登録インスペクター	講習 団体名	講習団体 登録番号	番号 またはID	
建築士の場合	資格	建築士 () 登録	第	号
	建築士事務所	建築士事務所 () 知事登録	第	号
	建築士事務所名			
建築施工管理技士の場合	資格	建築施工管理技士 2級の場合の種別 ()	合格証明番号	
	事業所 [※]	許可 建設業登録	第	号
	事業所名 [※]			
連絡先				
インスペクターについて	☐ やむを得ない理由により既存住宅状況調査技術者又は登録インスペクターによる実施ができない(既存住宅状況調査技術者・登録インスペクター欄の記入不要：下記に理由を記入) *建築士が実施する必要があります。			
	理由：			
現況検査日時	平成 年 月 日(天候)			
	: ~ :			
検査の結果	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)			

※該当のない場合は記入不要

(目次)

	頁	部位
A 外部	1	【1】 基礎（構造）
	2	【2】 外壁・軒裏（構造・雨水）
	3	【3】 屋根（雨水）
	3	【4】 バルコニー（構造・雨水）
B 内部	4	【5】 天井・小屋組・梁（構造）／天井・小屋組（雨水）
	5	【6】 内壁・柱（構造）／内壁（雨水）
	6	【7】 床（構造）
	6	【8】 土台・床組（構造）
	7	【9】 基礎（構造）
	8	【10】 設備配管【給水・給湯管】
	8	【10】 設備配管【排水管】
	8	【10】 設備配管【換気ダクト】
C	9	オプション
	9	オプション検査 非破壊検査機器による検査

※確認の程度の区分の凡例（第3面以降の確認欄の凡例）

- ① 「すべてまたはほとんどが確認できた」 . . . 9割以上
- ② 「過半の部分が確認できた」 . . . 5割以上9割未満
- ③ 「過半の部分が確認できなかった」 . . . 1割以上5割未満
- ④ 「ほとんど確認できなかった」 . . . 1割未満
- ⑤ 「まったく確認できなかった」 . . . 0割
- ⑥ 「点検口等から目視可能な範囲で確認できた」、又は「足場等を組んで確認した」

部位等		【1】基礎							
劣化状況	A 外部 B 内部	確認欄※	検査項目		確認内容				
	A 外部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ 現況検査できなかった箇所 (理由)	仕上げの種類の確認		☐ ア コンクリート直仕上げ ☐ イ モルタル仕上げその他の塗り仕上げ ☐ ウ その他の仕上げ				
			(1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ		☐ ア ひび割れが確認されない ☐ イ ひび割れが確認される(下表に記入) <table border="1"> <tr> <td>a. ひび割れが確認された場所</td> </tr> <tr> <td>□東面 □西面 □南面 □北面</td> </tr> <tr> <td>b. 最大のひび割れ幅</td> </tr> <tr> <td>() mm</td> </tr> </table>	a. ひび割れが確認された場所	□東面 □西面 □南面 □北面	b. 最大のひび割れ幅	() mm
			a. ひび割れが確認された場所						
			□東面 □西面 □南面 □北面						
			b. 最大のひび割れ幅						
			() mm						
			(2) 【構造】深さ20mm以上の欠損		☐ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される(下表に記入) <table border="1"> <tr> <td>a. 欠損が確認された場所</td> </tr> <tr> <td>□東面 □西面 □南面 □北面</td> </tr> <tr> <td>b. 最大欠損の深さ</td> </tr> <tr> <td>() mm</td> </tr> </table>	a. 欠損が確認された場所	□東面 □西面 □南面 □北面	b. 最大欠損の深さ	() mm
			a. 欠損が確認された場所						
			□東面 □西面 □南面 □北面						
b. 最大欠損の深さ									
() mm									
(3) 【構造】コンクリートの著しい劣化		☐ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される(下表に記入) <table border="1"> <tr> <td>a. 著しい劣化が確認された場所</td> </tr> <tr> <td>□東面 □西面 □南面 □北面</td> </tr> <tr> <td>b. 広範囲に及ぶひび割れの有無</td> </tr> <tr> <td>□ア ない □イ ある</td> </tr> <tr> <td>c. 広範囲に及ぶ欠損の有無</td> </tr> <tr> <td>□ア ない □イ ある</td> </tr> </table>	a. 著しい劣化が確認された場所	□東面 □西面 □南面 □北面	b. 広範囲に及ぶひび割れの有無	□ア ない □イ ある	c. 広範囲に及ぶ欠損の有無	□ア ない □イ ある	
a. 著しい劣化が確認された場所									
□東面 □西面 □南面 □北面									
b. 広範囲に及ぶひび割れの有無									
□ア ない □イ ある									
c. 広範囲に及ぶ欠損の有無									
□ア ない □イ ある									
(4) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損		☐ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される(下表に記入) <table border="1"> <tr> <td>a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所</td> </tr> <tr> <td>□東面 □西面 □南面 □北面</td> </tr> </table>	a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所	□東面 □西面 □南面 □北面					
a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所									
□東面 □西面 □南面 □北面									
(5) 【構造】鉄筋の露出		☐ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される(下表に記入) <table border="1"> <tr> <td>a. 鉄筋の露出が確認された場所</td> </tr> <tr> <td>□東面 □西面 □南面 □北面</td> </tr> </table>	a. 鉄筋の露出が確認された場所	□東面 □西面 □南面 □北面					
a. 鉄筋の露出が確認された場所									
□東面 □西面 □南面 □北面									
腐朽・腐食、蟻害		(1) 【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。 ☐ ア ない ☐ イ ある(下の()内を記入)							
有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	()							
備考									

検査の結果	【2】外壁・軒裏（構造）	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）	【2】外壁・軒裏（雨水）	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）
-------	--------------	---	--------------	---

部位等		【2】外壁・軒裏（構造）			
劣化状況	A 外部 B 内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	仕上げの種類の確認	☐ ア コンクリート直仕上げ ☐ イ モルタル仕上げその他の塗り仕上げ ☐ ウ サイディングボードその他の板状の仕上げ材 ☐ エ タイルによる仕上げ ☐ オ その他仕上げ	
	現況検査できなかった箇所 () 理由 ()		(1) 【構造】下地材まで到達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落	☐ ア 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認されない ☐ イ 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認される（下表に記入）	
			☐ a. ひび割れ等が確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面		
			☐ b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ () mm		
			(2) 【構造】複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損（乾式仕上、タイル仕上（湿式工法）の場合）	☐ ア 複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ 複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入）	
			☐ a. ひび割れ等が確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面		
			☐ b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ () mm		
	(3) 【構造】金属の著しい錆び又は化学的侵食（乾式仕上げの場合）	☐ ア 金属の著しい錆び又は化学的侵食が確認されない ☐ イ 金属の著しい錆び又は化学的侵食が確認される（下表に記入）			
	☐ a. 著しい劣化が確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面				
	(4) 【構造】仕上げ材の著しい浮き（乾式仕上げ以外の場合）	☐ ア 仕上げ材の著しい浮きが確認されない ☐ イ 仕上げ材の著しい浮きが確認される（下表に記入）			
	☐ a. 著しい浮きが確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面				
	【2】外壁・軒裏（雨水）				
	確認欄※	検査項目	確認内容		
	(構造)に記載	(1) 【雨水】シーリング材や防水層の破断、欠損	☐ ア シーリング材や防水層の破断、欠損が確認されない ☐ イ シーリング材や防水層の破断、欠損が確認される（下表に記入）		
☐ a. シーリング材や防水層の破断、欠損が確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面					
(2) 【雨水】軒裏天井等のシーリング材の破断又は欠損		☐ ア 軒裏天井等のシーリング材の破断又は欠損が確認されない ☐ イ 軒裏天井等のシーリング材の破断又は欠損が確認される（下表に記入）			
☐ a. 軒裏天井等のシーリング材の破断又は欠損が確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面					
(3) 【雨水】軒裏天井の雨漏りの跡		☐ ア 軒裏天井の雨漏りの跡が確認されない ☐ イ 軒裏天井の雨漏りの跡が確認される（下表に記入）			
☐ a. 軒裏天井の雨漏りの跡が確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面					
(4) 【雨水】屋外に面する建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良	☐ ア 建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認されない ☐ イ 建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認される（下表に記入）				
☐ a. 屋外に面する建具や建具廻りの隙間や破損、建具廻りの開閉不良が確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面					
(5) 【雨水】建具廻りのシーリング材の破断	☐ ア 建具廻りのシーリング材の破断が確認されない ☐ イ 建具廻りのシーリング材の破断が確認される（下表に記入）				
☐ a. シーリング材の破断が確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面					
腐朽・腐食、蟻害	(1) 【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。	☐ ア ない ☐ イ ある（下の（ ）内を記入）			
	有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	()		

検査の結果	【3】屋根	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）	【4】バルコニー	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）
-------	-------	---	----------	---

部位等		【3】屋根（雨水）			
劣化状況	A 外部 B 内部	確認欄※	検査項目		確認内容
		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （ 理由 （ ） ）	（1） 【雨水】屋根葺き材の著しい破損、すれ、ひび割れ、劣化、欠損、浮き又ははがれ （2） 【雨水】防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合（陸屋根等の場合）		☐ ア 屋根葺き材の著しい破損、すれ、ひび割れ、劣化、欠損、浮き又ははがれが確認されない ☐ イ 屋根葺き材の著しい破損、すれ、ひび割れ、劣化、欠損、浮き又ははがれが確認される a. 屋根葺き材の著しい破損、すれ、ひび割れ、劣化、欠損、浮きが確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面 ☐ ア 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認されない ☐ イ 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認される（下表に記入） a. 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面
	腐朽・腐食、蟻害	（1） 【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。 有りの場合 腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	☐ ア ない ☐ イ ある（下の（ ）内を記入） （ ）		
	【4】バルコニー（構造・雨水）				
	確認欄※	検査項目		確認内容	
	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （ 理由 （ ） ）	（1） 【構造】支持部材（バルコニーを構成している柱・梁・根太等）、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化（ルーフバルコニー等の場合） （2） 【雨水】防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合		☐ ア 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化が確認されない ☐ イ 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化が確認される（下表に記入） a. 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化が確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面 b. 最大のひび割れ幅 （ ）mm ☐ ア 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合又ははがれが確認されない ☐ イ 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認される a. 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認された場所 ☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面	
	腐朽・腐食、蟻害	（1） 【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。 有りの場合 腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	☐ ア ない ☐ イ ある（下の（ ）内を記入） （ ）		
	備考				

検査の結果	【5】天井・小屋組・梁（構造）	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）	【5】天井・小屋組（雨水）	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）
-------	-----------------	---	---------------	---

部位等		【5】天井・小屋組・梁（構造）						
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容				
	B内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	(1) 【構造】天井における下地材まで達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落	☐ ア 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認されない ☐ イ 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認される（下表に記入） <table border="1"> <tr> <td>a. 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認された場所</td> </tr> <tr> <td>()</td> </tr> </table>		a. 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認された場所	()	
		a. 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認された場所						
		()						
		現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	(2) 【構造】小屋組の著しいひび割れ、劣化又は欠損	☐ ア 小屋組の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認されない ☐ イ 小屋組の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認される（下表に記入） <table border="1"> <tr> <td>a. 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所</td> </tr> <tr> <td>()</td> </tr> <tr> <td>b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ</td> </tr> <tr> <td>() mm</td> </tr> </table>		a. 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所	()	b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ
	a. 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所							
	()							
	b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ							
	() mm							
		(3) 【構造】梁の著しいひび割れ、劣化又は欠損	☐ ア 梁の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認されない ☐ イ 梁の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認される（下表に記入） <table border="1"> <tr> <td>a. 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所</td> </tr> <tr> <td>()</td> </tr> <tr> <td>b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ</td> </tr> <tr> <td>() mm</td> </tr> </table>		a. 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所	()	b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ	() mm
a. 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所								
()								
b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ								
() mm								
	(4) 【構造】梁の著しいたわみ	☐ ア 梁の著しいたわみが確認されない ☐ イ 梁の著しいたわみが確認される（下表に記入） <table border="1"> <tr> <td>a. 著しいたわみが確認された場所</td> </tr> <tr> <td>()</td> </tr> <tr> <td>b. たわみの計測値</td> </tr> <tr> <td>()</td> </tr> </table>		a. 著しいたわみが確認された場所	()	b. たわみの計測値	()	
a. 著しいたわみが確認された場所								
()								
b. たわみの計測値								
()								
【5】天井・小屋組（雨水）								
	確認欄※	検査項目	確認内容					
	(構造)に記載	(1) 【雨水】天井の雨漏りの跡	☐ ア 天井の雨漏りの跡が確認されない ☐ イ 天井の雨漏りの跡が確認される（下表に記入） <table border="1"> <tr> <td>a. 天井の雨漏りの跡が確認された場所</td> </tr> <tr> <td>()</td> </tr> </table>		a. 天井の雨漏りの跡が確認された場所	()		
a. 天井の雨漏りの跡が確認された場所								
()								
	(2) 【雨水】小屋組の雨漏りの跡	☐ ア 小屋組の雨漏りの跡が確認されない ☐ イ 小屋組の雨漏りの跡が確認される（下表に記入） <table border="1"> <tr> <td>a. 小屋組の雨漏りの跡が確認された場所</td> </tr> <tr> <td>()</td> </tr> </table>		a. 小屋組の雨漏りの跡が確認された場所	()			
a. 小屋組の雨漏りの跡が確認された場所								
()								
	腐朽・腐食、蟻害	(1) 【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。	☐ ア ない ☐ イ ある（下の()内を記入） <table border="1"> <tr> <td>()</td> </tr> </table>		()			
()								
	有りの場合 腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	()						
備考								

検査の結果	【6】内壁・柱 (構造)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)	【6】内壁 (雨水)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)
-------	-----------------	---	---------------	---

部位等		【6】内壁・柱（構造）				
劣化状況	A 外部 B 内部	確認欄※	検査項目	確認内容		
	B 内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	(1) 【構造】下地材まで到達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落	☐ ア 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認されない ☐ イ 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認される（下表に記入）	a. 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認された場所 ()	
		現況検査できなかった箇所 ()	(2) 【構造】柱・壁における6/1,000以上の傾斜（凹凸の少ない仕上げによる壁の表面と、その面と垂直な鉛直面との交差する線（2m程度以上の長さのものに限る。）の鉛直線に対する角度をいう。）	☐ ア 柱・壁の著しい傾斜が確認されない ☐ イ 柱・壁の著しい傾斜が確認される（下表に記入）	a. 柱・壁の最も傾きがある場所 () b. 当該部分の傾斜 (/ 1,000)	
		理由 ()		(3) 【構造】柱の著しいひび割れ、劣化又は欠損	☐ ア 柱の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認されない ☐ イ 柱の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認される（下表に記入）	a. 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ () mm
		【6】内壁（雨水）				
		確認欄※	検査項目		確認内容	
		(構造)に記載	(1) 【雨水】内壁の雨漏りの跡	☐ ア 内壁の雨漏りの跡が確認されない ☐ イ 内壁の雨漏りの跡が確認される（下表に記入）	a. 内壁の雨漏りの跡が確認された場所 ()	
		腐朽・腐食、蟻害	(1) 【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。	☐ ア ない ☐ イ ある（下の（ ）内を記入）		
			有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	()	
備考						

検査の結果	【7】床 (構造)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)	【8】土台・床 組(構造)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)
-------	--------------	---	------------------	---

部位等		【7】床（構造）			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目		確認内容
	B内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	(1) 【構造】 著しいひび割れ、劣化又は欠損		☐ ア 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認されない ☐ イ 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認される(下表に記入) a. 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ () mm
		(2) 【構造】 著しい沈み		☐ ア 著しい沈みが確認されない ☐ イ 著しい沈みが確認される(下表に記入) a. 著しい沈みがある場所 ()	
		(3) 【構造】 6/1,000以上の傾斜(凹凸の少ない仕上げによる壁の表面と、その面と垂直な鉛直面との交差する線(2m程度以上の長さのものに限る。)の鉛直線に対する角度をいう。)		☐ ア 著しい傾斜が確認されない ☐ イ 著しい傾斜が確認される(下表に記入) a. 最も傾きがある場所 () b. 当該部分の傾斜 (/ 1,000)	
		(1) 【構造】 著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。		☐ ア ない ☐ イ ある(下の()内を記入)	
		腐朽・腐食、蟻害	有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	()
		【8】土台・床組（構造）			
		確認欄※	検査項目		確認内容
		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	(1) 【構造】 著しいひび割れ、劣化又は欠損		☐ ア 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認されない ☐ イ 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認される(下表に記入) a. 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ () mm
	腐朽・腐食、蟻害	(1) 【構造】 著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。		☐ ア ない ☐ イ ある(下の()内を記入)	
	有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	()		
備考					

検査の結果	【9】基礎・内部（構造）	劣化事象（ ☐ 有り、 ☐ 無し）		
-------	--------------	---	--	--

部位等		【9】基礎・内部（構造）				
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容		
	B内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	仕上げの確認	①基礎に記載		
			(1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ	☐ ア ひび割れが確認されない		
				☐ イ ひび割れが確認される（下表に記入）		
			a. ひび割れが確認された場所	☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面		
			b. 最大のひび割れ幅	() mm		
			(2) 【構造】深さ20mm以上の欠損	☐ ア 欠損が確認されない		
			☐ イ 欠損が確認される（下表に記入）			
			a. 欠損が確認された場所	☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面		
			b. 最大欠損の深さ	() mm		
(3) 【構造】コンクリートの著しい劣化	☐ ア 著しい劣化が確認されない					
☐ イ 著しい劣化が確認される（下表に記入）						
a. 著しい劣化が確認された場所	☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面					
b. 広範囲に及びひび割れの有無	☐ ア ない ☐ イ ある					
c. 広範囲に及び欠損の有無	☐ ア ない ☐ イ ある					
(4) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	☐ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない					
☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入）						
a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所	☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面					
(5) 【構造】鉄筋の露出	☐ ア 鉄筋の露出が確認されない					
☐ イ 鉄筋の露出が確認される（下表に記入）						
a. 鉄筋の露出が確認された場所	☐ 東面 ☐ 西面 ☐ 南面 ☐ 北面					
腐朽・腐食、蟻害	(1) 【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。	☐ ア ない				
		☐ イ ある（下の（ ）内を記入）				
有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	()				
備考						

部位等		【10】設備配管【給水・給湯管】		
劣化状況	A 外部 B 内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	B 内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	(1) 【設備配管】給水管、給湯管の発錆による赤水	☐ ア 発錆による赤水が確認されない ☐ イ 発錆による赤水が確認される（下表に記入） a. 発錆による赤水が確認された場所 ()
		(2) 【設備配管】給水管、給湯管からの漏水	☐ ア 漏水が確認されない ☐ イ 漏水が確認される（下表に記入） a. 漏水が確認された場所 ()	
		現況検査できなかった箇所 ()		
		理由 ()		
		【10】設備配管【排水管】		
		確認欄※	検査項目	確認内容
		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	(1) 【設備配管】排水の滞留	☐ ア 排水の滞留が確認されない ☐ イ 排水の滞留が確認される（下表に記入） a. 排水の滞留が確認された場所 ()
		(2) 【設備配管】排水管の漏水	☐ ア 排水管の漏水が確認されない ☐ イ 排水管の漏水が確認される（下表に記入） a. 漏水が確認された場所 ()	
	現況検査できなかった箇所 ()			
理由 ()				
【10】設備配管【換気ダクト】				
確認欄※	検査項目	確認内容		
☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	(1) 【設備配管】換気ダクトの脱落	☐ ア 換気ダクトの脱落が確認されない ☐ イ 換気ダクトの脱落が確認される（下表に記入） a. 換気ダクトの脱落が確認された場所 ()		
現況検査できなかった箇所 ()				
理由 ()				

オプション

	A外部 B内部	検査の有無	検査項目	確認内容
劣化状況	A 外部	☐ 検査あり	(1) 門、塀等の工作物、車庫、擁壁等の目視可能な範囲の検査 (検査内容) ()	☐ ア 異常が確認されない ☐ イ 異常が確認される(下表に記入) a. 異常が確認された場所 () b. 異常の状況 ()
		☐ 検査あり	(2) 樋の詰まり等、清掃で解決するものの検査 (検査内容) ()	☐ ア 異常が確認されない ☐ イ 異常が確認される(下表に記入) a. 異常が確認された場所 () b. 異常の状況 ()
		☐ 検査あり	(3) 給排水設備、電気設備、ガス設備、浄化槽の著しい劣化 (検査内容) ()	☐ ア 作動不良が確認されない ☐ イ 作動不良が確認される(下表に記入) a. 作動不良が確認された場所 () b. 作動不良の状況 ()
		☐ 検査あり ※ 鉄筋の本数、配置検査は、鉄筋探査欄に記入	(4) 非破壊検査機器を用いた検査 (検査内容) ()	☐ ア 異常が確認されない ☐ イ 異常が確認される(下表に記入) a. 異常が確認された場所 () b. 異常の状況 ()
	B 内部	☐ 検査あり	(1) キッチンコンロ、換気扇やパッケージエアコン等の設備機器の作動不良等の検査 (検査内容) ()	☐ ア 作動不良が確認されない ☐ イ 作動不良が確認される(下表に記入) a. 作動不良が確認された場所 () b. 作動不良の状況 ()
		☐ 検査あり	(2) 給排水設備、電気設備、ガス設備 (検査内容) ()	☐ ア 作動不良が確認されない ☐ イ 作動不良が確認される(下表に記入) a. 作動不良が確認された場所 () b. 作動不良の状況 ()
		☐ 検査あり	(3) 住宅の汚損等、清掃により解消可能なものの検査 (検査内容) ()	☐ ア 汚損が確認されない ☐ イ 汚損が確認される(下表に記入) a. 汚損が確認された場所 () b. 汚損の状況 ()
		☐ 検査あり ※ 鉄筋の本数、配置検査は、鉄筋探査欄に記入	(4) 非破壊検査機器を用いた検査(鉄筋探査以外) (検査内容) ()	☐ ア 異常が確認されない ☐ イ 異常が確認される(下表に記入) a. 異常が確認された場所 () b. 異常の状況 ()
	鉄筋探査	☐ 検査あり 非破壊検査機器による検査【鉄筋の本数及び間隔】	(1) 基礎における鉄筋の本数及び間隔 (検査位置) ()	☐ ア 立ち上がり補強筋間隔が@300以内、または設計図書以内 a. 補強筋間隔 (@ mm) ☐ イ 補強筋間隔が@300以上、または設計図書以上(下表に記入) b. 補強筋間隔が適切ではない場所 ()
				☐ ア 底版補強筋間隔が@300以内、または設計図書以内 a. 補強筋間隔 (@ mm) ☐ イ 補強筋間隔が@300以上、または設計図書以上(下表に記入) b. 補強筋間隔が適切ではない場所 ()